

もっと!
 知って欲しい、
 ワクチンで防げる病気
 “百日咳”

?
 百日咳の症状って・・・



その名の通り百日続く咳というくらい咳込みが長びく病気です。最初に咳の症状がみられるようになって咳が出なくなるまで、2カ月強程度かかります。また、激しい咳が続くと体力が奪われ、ほかの病気にもかかりやすくなります。



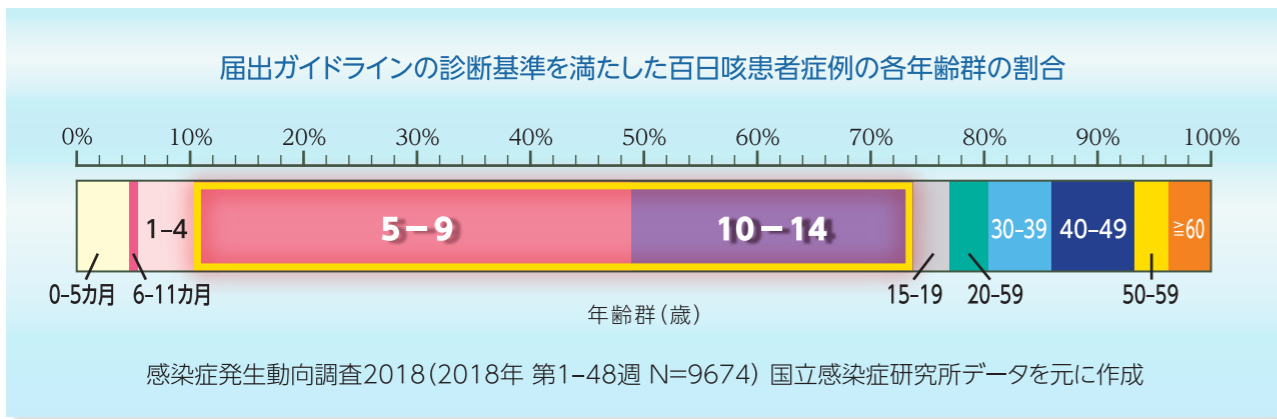
ご存知の方も多いと思いますが、百日咳は4種混合ワクチンの中に入っています。

あれ? だったらワクチンで防げる感染症なんじゃないの?



しかし!

下記のグラフが示すように、ワクチン接種が済んでいるにもかかわらず、**5-9才、10-14才** の発症が多いのです



百日咳を含む4種混合にワクチンは1才までに3回に加え1才時に4回目(追加接種)を行います。百日咳菌をやっつけてくれる抗体のつき方はどうでしょう。接種終了後4年程で50%減、8年後には90%消失するという報告があります。時おり小学校などで流行がみられるのはこのためです。

MLC 藪田医師もお勧めしています

任意接種にはなりますが百日咳を含むワクチンとして3種混合ワクチン(百日咳、ジフテリア、破傷風)を、5-6才時に1回、11-12才時に1回接種されることをお勧めいたします。



知って欲しい、
 考えてほしい・・・
 “コロナワクチンについて”

“10代の新型コロナワクチン接種世代へ”

当院でも2021.8月から12-15才児対象の新型コロナワクチン(ファイザー社製)接種を開始しました。患者さんからは質問も多く、接種すべきかの参考にさせていただければうれしいです。(情報は2021.10.15現在のものとご理解ください。)

今回は若年層、特に男性に、みられる心筋炎の発症についてデータを示してお話いたします。



まず、

実際に新型コロナウイルスにかかって心筋炎を発症する率はどれくらい?

100万人あたり1900人くらいです。
 新型コロナにかかった平均19歳のアスリート1957人中37人に心筋炎が発症したというデータを参考にしました。

では、

コロナワクチン接種で心筋炎を発症する率はどれくらい?

日本での100万人接種当たりの心筋炎 2021.10.1厚生労働省HP記載

年齢(歳)	ファイザー社		モデルナ社	
	男性	女性	男性	女性
10~19	1.87人	1.94人	21.6人	0.00人
20~29	13.08人	1.45人	17.06人	0.79人
30~39	2.88人	1.45人	2.57人	2.81人
40~49	1.65人	0.83人	2.10人	0.77人

左の表が示すように心筋炎を発症する確率は、新型コロナにかかった場合、ワクチン接種で発症する場合の約1000倍で、しかも重症です。

それでも海外のいくつかの国でモデルナ社製のワクチンには規制がかかりました。2021.10.6スウェーデンが30歳未満、デンマークが18歳未満のモデルナ社製ワクチンの接種中止を発表しました。両国ともファイザー社製を勧めております。日本では、2021.10.15厚労省から、1回目モデルナ社製でも2回目ファイザー社製を接種できると案内されました。(できればファイザー社製を接種してくださいという解釈です。)

わかっていることは・・・

オリンピックを挟んだ第5波はデルタ株が流行しました。10代、20代に加え10代以下の感染も多数報告されましたね。デルタ株でもワクチン接種しているとかなりかかりにくい、そしてさらに重症化しにくい。



ただ、ワクチン接種も少しだけリスクを負わなければいけないという事です。

ワクチンというものは本来集団がかかりにくくするという側面が強くありますが、今回のワクチンは自分のために受けるべきかという視点だけで考えても良いと思います。